

Ⅲ 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネーを利用した世帯員がいる割合は、5年間で2倍に

世帯全体（総世帯）について、2013年の電子マネーを持っている世帯員がいる世帯の割合は43.2%で、前年に比べ4.5ポイントの上昇となった。

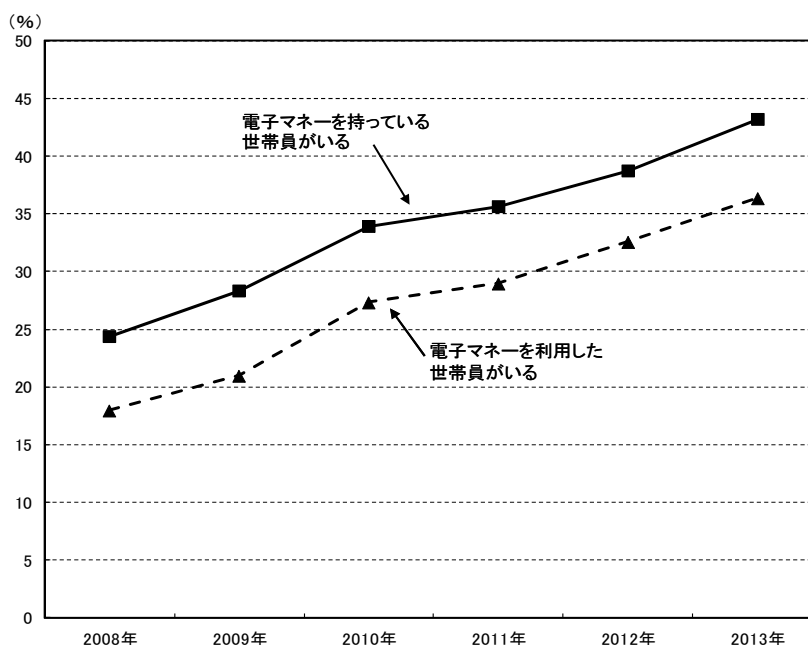
電子マネーの調査を開始した2008年以降の割合の推移をみると、毎年上昇しており、5年間で1.8倍となっている。2013年が前年に比べ4ポイント以上の上昇となったのは、10種類の交通系ICカードの相互利用サービスが開始されたことで、更に利便性が高くなったためと見られる。

また、2013年の電子マネーを利用した世帯員がいる世帯の割合は36.4%で、前年に比べ3.8ポイントの上昇となった。2008年以降の割合の推移をみると、毎年上昇しており、5年間で2.0倍となっている。（表Ⅲ－1、図Ⅲ－1）

表Ⅲ－1 電子マネーの保有状況の推移（総世帯）

	電子マネーを持っている世帯員がいる	電子マネーを利用した世帯員がいる
2008年	24.4	18.0
2009年	28.3	21.0
2010年	33.9	27.4
2011年	35.6	29.0
2012年	38.7	32.6
2013年	43.2	36.4

図Ⅲ－1 電子マネーの保有状況の推移（総世帯）



※電子マネーとは

この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引き換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど

なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。

また、バスカードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

2 電子マネーを1万円以上利用した世帯の割合は、5年間で2.8倍に

世帯全体（総世帯）について、2013年の電子マネーを利用した1世帯当たり1か月間の平均利用金額は10,803円で、前年に比べ5.1%の増加となった。

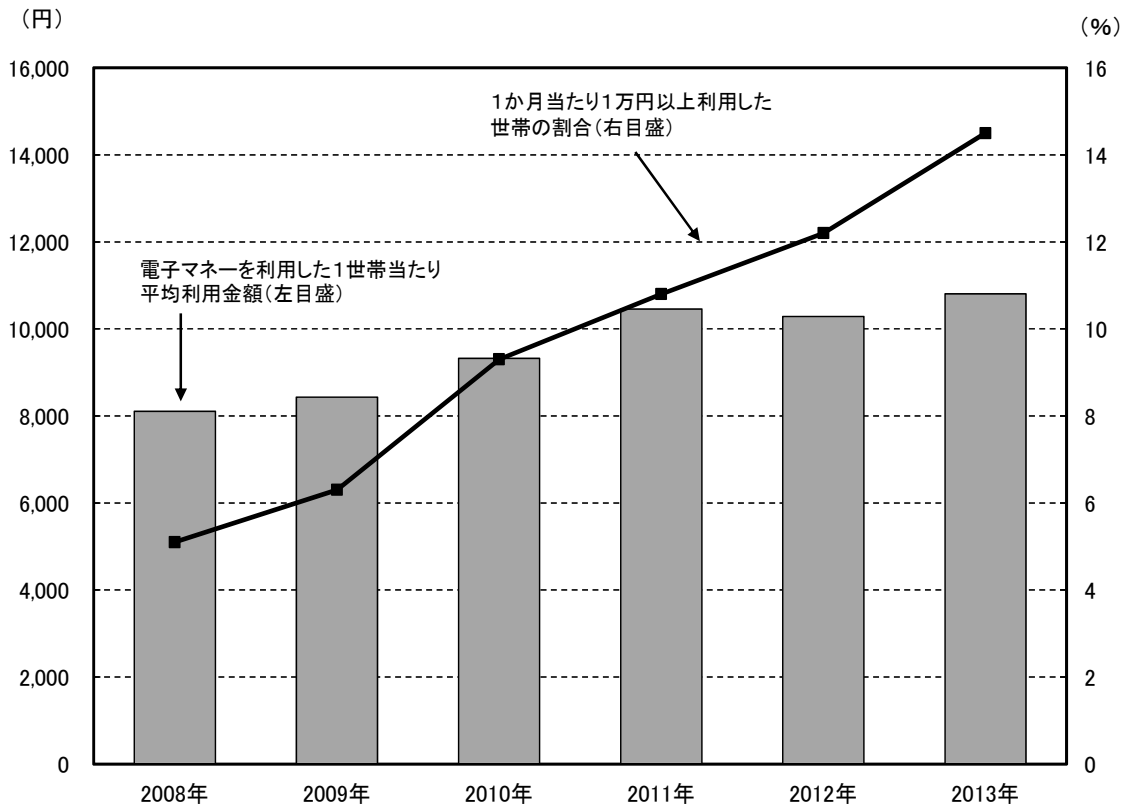
2008年以降の平均利用金額の推移をみると、2011年までは毎年増加を続けていたが、2012年は前年に比べほぼ同額、2013年は再び増加となった。

また、2013年の電子マネーを1か月当たり1万円以上利用した世帯の割合は14.5%で、前年に比べ2.3ポイント上昇した。2008年以降の割合の推移をみると、毎年上昇しており、5年間で2.8倍となっている。（表Ⅲ－2、図Ⅲ－2）

表Ⅲ－2 電子マネーを利用した1世帯当たり1か月間の平均利用金額の推移（総世帯）

	電子マネーを利用した 1世帯当たり平均利用金額(円)	1か月当たり1万円以上 利用した世帯の割合(%)
2008年	8,104	5.1
2009年	8,431	6.3
2009年	8,431	6.3
2010年	9,325	9.3
2011年	10,457	10.8
2012年	10,283	12.2
2013年	10,803	14.5

図Ⅲ－2 電子マネーを利用した1世帯当たり1か月間の平均利用金額の推移（総世帯）



3 コンビニエンスストア及びスーパーマーケットでの利用割合が拡大

世帯全体（総世帯）について、2013年の電子マネーの利用回数が最も多かった場所の構成の内訳をみると、交通機関が48.8%、コンビニエンスストア及びスーパーマーケットが45.3%などで、前年に比べ交通機関で4.4ポイントの縮小、コンビニエンスストア及びスーパーマーケットで3.8ポイントの拡大となっている。

2008年以降の構成の内訳の推移をみると、2008年以降交通機関が最も高くなっているが、縮小する傾向にある。

一方、小売店で利用出来る店舗が増えていることもあり、コンビニエンスストア及びスーパーマーケットで利用された割合は拡大した。（表Ⅲ－3，図Ⅲ－3）

表Ⅲ－3 電子マネーの利用状況及び電子マネーの利用回数が最も多かった場所の割合（総世帯）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
電子マネーを利用した世帯員がいる世帯の割合 【利用回数が最も多かった場所】	17.7	20.8	27.3	29.0	32.5	34.0
交通機関(定期券としての利用は除く)	12.5	14.3	15.3	15.4	17.3	16.6
コンビニエンスストア及びスーパーマーケット	3.2	3.9	10.6	12.0	13.5	15.4
コンビニエンスストア	3.2	3.9	4.6	5.8	6.3	6.2
スーパーマーケット	-	-	6.0	6.2	7.2	9.2
その他	2.0	2.6	1.4	1.6	1.7	2.0
電子マネーを利用した世帯員がいる 【利用回数が最も多かった場所の内訳】	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交通機関(定期券としての利用は除く)	70.6	68.8	56.0	53.1	53.2	48.8
コンビニエンスストア及びスーパーマーケット	18.1	18.8	38.8	41.4	41.5	45.3
コンビニエンスストア	18.1	18.8	16.8	20.0	19.4	18.2
スーパーマーケット	-	-	22.0	21.4	22.2	27.1
その他	11.3	12.5	5.1	5.5	5.2	5.9

(注1) 不詳を除いた割合及びその構成。図Ⅲ－3も同じ。

(注2) 2009年までスーパーマーケットはその他に含まれている。図Ⅲ－3も同じ。

図Ⅲ－3 電子マネーの利用回数が最も多かった場所の割合（総世帯）

